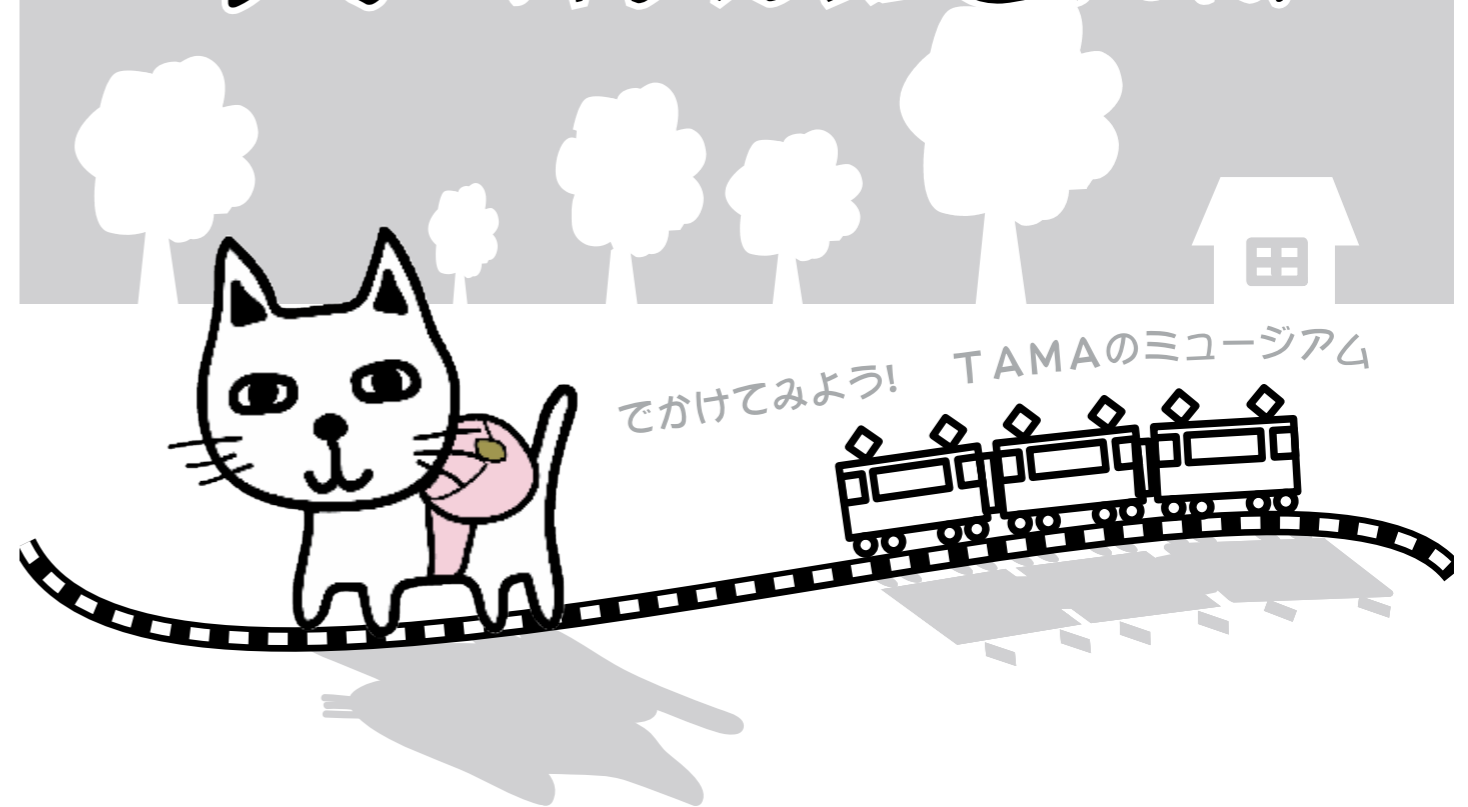


三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 西多摩郡檜原村3221	042-598-0880	JR五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	〒198-0173 青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR青梅線「御岳駅」下車徒歩20分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR青梅線「青梅駅」下車徒歩15分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 あきる野市五日市920-1	042-596-4069	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 羽村市羽741	042-558-2561	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子子ども科学館)	〒192-0062 八王子市大横町9-13	042-624-3311	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 八王子市上野町33	042-622-8939	①JR中央線「八王子駅」南口から徒歩15分 ②JR中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩3分
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	〒192-0032 八王子市石川町2683-3	042-644-3751	①JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ②JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 福生市大字熊川850-1	042-530-1120	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山316-5	042-568-0634	JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩20分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 武蔵村山市本町5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 立川市富士見町3-12-34	042-525-0860	JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 日野市程久保550	042-592-0981	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分 ②モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	首都大学東京 91年館	〒192-0397 八王子市南大沢1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
16	帝京大学総合博物館	〒192-0395 八王子市大塚359	042-678-3675	多摩モノレール「大塚・帝京大学」駅下車徒歩15分、京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅、「高幡不動」駅、「多摩センター」駅より京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
17	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東大和市奈良橋1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩7分
18	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
19	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13	042-396-2909	西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅」行き、所沢駅行きで約10分（「ハンセン病資料館」で下車）
20	くにたち郷土文化館	〒186-0011 国立市谷保6231	042-576-0211	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分
21	たましん歴史・美術館	〒186-8686 国立市中1-9-52	042-574-1360	JR中央線「国立駅」南口前
22	パルテノン多摩歴史ミュージアム	〒206-0033 多摩市落合2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
23	東京都立埋蔵文化財調査センター	〒206-0033 多摩市落合1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
24	町田市立博物館	〒194-0032 町田市本町田3562	042-726-1531	小田急線・JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
25	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 府中市南町6-32	042-368-7921	京王線・JR南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
26	小金井市文化財センター	〒184-0003 小金井市緑町3-2-37 (浴恩館公園内)	042-383-1198	JR中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩5分
27	江戸東京たてもの園	〒184-0005 小金井市桜町3-7-1	042-388-3300	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス5分「小金井公園西口」下車徒歩5分
28	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 小金井市中町2-24-16	042-388-7163	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
29	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 清瀬市上清戸2-64-41	042-493-8585	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ②駅北口バス乗り場1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
30	多摩六都科学館	〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」北口よりはなバス第4北ルート多摩六都科学館下車
31	調布市郷土博物館	〒182-0026 調布市小島町3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
32	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1	0422-34-3688	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車
33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	〒180-0022 武蔵野市境5-15-5	0422-53-1811	①JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩12分 ②武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗りし、4番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
34	狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)	〒201-0013 狛江市元和泉2-15-5	03-3489-8981	①小田急線狛江駅より徒歩10分 ②狛江駅北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

催し物案内2016年度秋・冬号
2016年10月～2017年3月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。
多摩地域の博物館をめぐってみませんか!

出かけてみよう!
多摩の博物館
MAP

1 奥多摩水と緑のふれあい館
水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。

2 榎原村郷土資料館
数馬の家業や、榎原の歴史・民俗・自然を展示。

3 御岳美術館
明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。

4 青梅市郷土博物館
青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する史料を展示。

5 あきる野市五日市郷土館
五日市の歴史・民俗・自然、五日市書法関係資料も。

6 羽村市郷土博物館
羽村の歴史と文化、玉川上水と中里川に関する資料を展示。

7 八王子市郷土資料館
八王子の歴史と民俗、軍人形や戦物の展示もある。

8 コニカミサルサイエンスドーム
プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。

9 集合住宅歴史館（都市再生機構内）
歴史的に価値の高い集合住宅を移築展示して展示。

10 福生市郷土資料館
福生の歴史・民俗・自然を紹介。磨粉倉も復元展示。

11 瑞穂町郷土資料館（けやき館）
瑞穂の歴史と民俗を展示、餅屋職人の再現も。

12 武蔵村山市立歴史民俗資料館
武蔵村山の歴史・民俗・自然を球山丘陵と武蔵野台地の開発などを通じて紹介。

13 立川市歴史民俗資料館
立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家も。

14 日野市郷土資料館
日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究を市民とともに展開中。

15 首都大学東京91年館
大学所蔵の学術書本・資料、最新の研究成果を展示。

16 帝京大学総合博物館
帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。

17 東大和市郷土博物館
東大和の歴史・民俗、東山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。

18 東村山ふるさと歴史館
「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。

19 国立ハンセン病資料館
ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。

20 くにたち郷土文化館
国立の歴史、ハブの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。

21 たましん歴史・美術館
多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

22 ハルテノン多摩歴史ミュージアム
多摩丘陵と多摩ニュータウンの歴史を展示する。

23 東京都立理蔵文化財調査センター
多摩丘陵の理蔵文化財を展示。漢語庭園「藪文の村」も。

24 町田市立博物館
香古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。

25 府中市郷土の森博物館
府中の歴史・民俗・自然、プラネタリウム、古民家も。

26 小倉井市文化財センター
小倉井の歴史と文化をたどる。小金井の歴史と文化をたどる。

27 江戸東京たてもの園
江戸東京の歴史の建造物を移築した野外博物館。

28 東京農工大学科学博物館
展示に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究所や衣の衣による活動も盛ん。

29 清瀬市郷土博物館
清瀬の歴史と民俗。伝説スタジオでは体験学習も。

30 多摩六都科学館
「最も先進的」として世界に認定されたプラネタリウムと5つの展示室のある参加体験型の科学館。

31 調布市郷土博物館
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

32 国立天文台天文機器資料館
日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。

33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館
武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

34 狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

32 国立天文台天文機器資料館
日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。

33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館
武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

34 狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

30 多摩六都科学館 (042-469-6100)
世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始、その他臨時休館あり	入館料	大人500円、小人(4歳～高校生)200円 プラネタリウム、大型映像は別料金
------	------------------------	-----	------------------------------------	-----	---

- 秋の特別企画展「キトラ古墳が語るもの～地の巻～」(10.8～11.6)
- 生解説プラネタリウム「キトラ古墳が語るもの～天の巻～」(9.9～11.20)
「星を見に行こう～西武鉄道星空の旅～」(11.22～1.31)
- 大型映像「宮沢賢治 銀河鉄道の夜」(9.2～終了日未定)

【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

31 調布市郷土博物館 (042-481-7656)
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
------	------------	-----	----------------------------	-----	----

- 空調設備改修工事のため、12月28日まで臨時休館しています。
- 郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(2017.1.4～3.5) ちょっと昔の道具から郷土の暮らしを紹介します。

【博物館外での展示】

- 調布市文化財指定記念企画展「よみがえる天平のいぶき—深大寺白鳳仏厨子と吉田包春—」(11.1～11.5)
市文化財に新指定された深大寺釈迦如来倚像厨子と、その作者である正倉院宝物の修復や模造で著名な奈良の漆芸家・吉田包春の作品を展示します。[会場] 深大寺本堂 [時間] 10:00～15:00

※ただし、法要等により入場できない場合がありますので、事前に深大寺(042-486-5511)または博物館へお問い合わせください。また、車でのお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用下さい。アクセス情報は深大寺ホームページ(<http://www.jindaiji.or.jp/>)でご確認下さい。

【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

32 国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3688)
日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。

開館時間	10:00～17:00(入場は16:30まで)	休館日	年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料
------	-------------------------	-----	-----------------	-----	----

- 国立天文台では、10月21日、22日に年1回の特別公開「三鷹・星と宇宙の日」を開催します。今年のメインテーマは”重力波が拓く天文学”です。普段は見学できない施設の公開や、プロジェクトの紹介など趣向を凝らした展示・公開と、メインテーマにちなんだ講演会もお楽しみいただけます。また、文化財ウィーク期間中の11月3日、5日、6日には、国登録有形文化財の太陽塔望遠鏡(アインシュタイン塔)特別公開や台内の文化財を巡るツアーなど、国立天文台の歴史に触れていただくイベントを開催します。詳しくはURLをご覧ください。

【URL】 <http://www.nao.ac.jp/access/mitaka/>

33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 (0422-53-1811)
武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜・土曜(※)・祝日・年末年始 ※本年12月より土曜日も開館します。	入館料	無料
------	------------	-----	--	-----	----

- 企画展「武蔵野の玉川上水～4つの視線を読み解く～」(10.20～12.28)
絵図・錦絵などを通じて、玉川上水がどのように意識され、とらえられてきたのかを紹介します。

【URL】 http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

34 狛江市立古民家園(愛称：むいから民家園) (03-3489-8981)
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料
------	------------	-----	----------------------------------	-----	----

- 10月・11月は、染め物の体験教室を開くほか、園内の畑で栽培した綿や蕎麦の実を使って綿摘み体験や蕎麦打ち体験などを行う予定です。年末には、正月飾りの生け花教室、年始には正月飾りの展示や「こまえ初春まつり」のサブ会場としてまゆ玉飾りや正月遊びを行う予定です。2月・3月には、節分や桃の節句にちなんだ行事や機織り体験教室を行う予定です。日時などの詳細については、ホームページにアップしていきます。

【URL】 <http://www.city.komae.tokyo.jp/>

25	府中市郷土の森博物館（042-368-7921）				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00(入場は14:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「発掘された中世遺跡」(～10.30) JR西府駅周辺の発掘で姿をあらわしてきた中世の遺跡の調査成果を報告します。 ●企画展「ちょっとむかしのくらし」(11.12～3.31) 府中でつかわれていたちょっと昔道具から、くらしの移り変わりを紹介します。 ●特別展「あしもとネイチャーワールド 多摩川・冬鳥の陣」(1.28～3.12) 多摩川における冬鳥の生態を、剥製標本や写真パネルで紹介します。 ●郷土の森梅まつり(2.4～3.12) 園内に咲き誇る梅の花をお楽しみください。 <p style="text-align: right;">【URL】http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</p>					

26	小金井市文化財センター（042-383-1198）				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。 ●企画展「小金井のまつりと民俗」(11.1～12.25) 地元に現代でも伝承されているお囃子・お月見などと、すでに途絶えてしまった麦打ち・花火などの民俗を併せて紹介します。 <p style="text-align: right;">【URL】http://tamahaku.jp/kojin/</p>					

27	江戸東京たてもの園（042-388-3300）				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	10月～3月 9:30～16:30(入園は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.26～1.1	入館料	大人400円、中学生(都外)高校生200円、大学生320円、65才以上200円、小学生以下および中学生(都内)無料
<ul style="list-style-type: none"> ●展示室「武蔵野の歴史と考古学—江戸東京たてもの園収蔵品展—」(～1.22) 「川崎平右衛門展」(仮称)(2.7～5.7) ●秋冬の催し「体験!発見!職人さん」(10.8・9) 綱島家の年中行事～十三夜飾り(10.8～13) 大根干し(12月上旬) 夜間特別開園「紅葉とたてものライトアップ」(11.25～27) 今年は全部自分でつくろう!「お正月お飾りづくり」(12.17・18) 「正月の昔遊び」(1.7・8) 「たてもの園フェスティバル」(3.20) ●定例の催し ミュージアムトーク(第4土曜日) 伝統工芸の実演(第2土曜日と翌日曜日) <p style="text-align: right;">【URL】http://www.tatemonoen.jp/</p>					

28	東京農工大学科学博物館（042-388-7163）				
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日 (創立記念日)、年末年始等	入館料	常設展無料
【URL】 http://www.tuat.ac.jp/~museum/					

29	清瀬市郷土博物館（042-493-8585）				
	清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「はたおり伝承の会30周年記念展」(10.8～23) 機織り技術を習得し、次世代への伝承を目的とする自主グループの活動と作品を紹介 ●企画展「第31回清瀬美術家展」(11.19～27) 清瀬美術家懇話会会員による絵画、彫刻作品を紹介する毎年恒例の企画展 ●企画展「染める・織る・縫う」(3.4～12予定) 当館主催の染物、はたおり、和裁教室の参加者と講師、活動グループの作品展 <p style="text-align: right;">【URL】http://www.city.kiyose.lg.jp/</p>					

1	奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731）				
	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	無料
<p>奥多摩の自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあう場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示映像等で分かりやすく紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヘブンアーティスト公演(10.16) 12:00～、14:00～ 東京都認定ヘブンアーティストによるマジック等の公演 ●秋のミニコンサート(11.12・13) 両日11:30～、13:30～ 都民交響楽団有志による公演 ●川野の車人形公演(3.12) 11:30～、13:30～ 小河内の郷土芸能である車人形の公演 <p style="text-align: right;">【URL】http://www.okutama.gr.jp/</p>					

2	檜原村郷土資料館（042-598-0880）				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館では、「自然」と「観光」「歴史と民俗」の2つのテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが展示されています。また、自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」と「重要文化財小林家住宅」の鑑賞が常時可能となっています。 ●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 ●特別展「檜原村山野草標本展」(10.1～30) 山野草の標本113点を展示する。 ●特別展「まゆ玉飾り」(1.9～15) 村に古くから伝わる小正月の行事2 ●特別展「檜原村野鳥写真展」(2.12～3.12) 村内に生息する野鳥の写真20点を展示する <p style="text-align: right;">【URL】http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.html</p>					

3	たましん御岳美術館（0428-78-8814）				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 (11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円、 中生300円
<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度たましん御岳美術館後期展示「海をわたった作家たち 何を想い、その先に何をみようとしたか」 常設展示 日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち—荻原守衛、中村彝、中原悌二郎、高村光太郎など 倉田三郎記念室 旅の素描—旧ユーゴスラヴィア— ギャラリートーク(10.15・11.19) 各日2回 ①11:00～ ②13:00～ 藤島武二の作品を中心に30分程度、ご案内いたします。 ●スケッチの日 第3回(11.3・4) 受付時間 10:00～15:00 ※雨天決行 御岳渓谷の風景を楽しみながらスケッチしませんか?画材は無料で貸し出します。初めての方もお気軽にご参加ください。 <p style="text-align: right;">【URL】http://www.tamashin.or.jp/mitake.html</p>					

4	青梅市郷土博物館（0428-23-6859）				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「青梅の食文化」(10.22～1.15) 青梅の食文化について紹介します。 ●企画展「江戸時代の日記」(仮称)(1.28～4.16) 青梅に残る江戸時代の日記をもとに、当時の生活や世相を紹介します(仮)。 <p style="text-align: right;">【URL】http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</p>					

5	あきる野市五日市郷土館（042-596-4069）				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した荻原タケの功績を紹介しています。 ●企画展示「半世紀前の東京オリンピックとその頃の五日市」展(～12.25) 昭和39(1964)年に開催された東京オリンピックの聖火トーチやポスター、聖火リレーに参加した市民ランナーのユニフォームなどの関係資料の展示と、その当時の五日市の街並を収蔵写真で紹介いたします。 <p style="text-align: right;">【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</p>					

6	羽村市郷土博物館（042-558-2561）				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「深・墨・華・朱～中里介山の書画～」(～12.23) ●「お正月かざり」(1.4～1.15) ●「まゆ玉かざり」(1.10～1.15) ●企画展「むかしのくらし」(1.10～1.22) ●企画展「ひな人形展」(2.4～3.5) <p>【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>					

7	コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市子ども科学館）（042-624-3311）				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜 9:00～12:00は事前予約団体専用）	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始 など（夏休み期間は無休）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円 （プラネタリウム料金別）
改修工事と展示物更新のため、平成28年10月1日から平成29年7月19日まで休館します。 【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/					

8	八王子市郷土資料館（042-622-8939）				
	八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や機織の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 祝日の翌日、年末年始、 その他館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展『郷土へのまなざし～「史跡」・「聖蹟」と八王子』(10.15～12.4) 八王子市内の史跡や明治天皇の聖蹟などに関する資料を展示します。（展示解説11.5、11.27） ●特別展『掘りおこされた八王子の歴史』(2.7～3.26) 市内で発掘された土器などの資料から八王子の歴史を探ります。 ●企画展『七福神』(12.24～1.22) 八王子七福神めぐりに合わせて八王子に残る七福神の資料を展示します。 <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html</p>					

9	集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構）（042-644-3751）				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始 (2013年4月～)	入館料	無料 ※事前予約制
<ul style="list-style-type: none"> ●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。 ●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など ●見学方法 事前予約制のため予め電話・ホームページで申込みください。 <p>【URL】http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>					

10	福生市郷土資料室（042-530-1120）				
	福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳椀倉の復元展示も行っています。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日 休館）、年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展示「武州下原刀展Ⅲ」(10.1～11.27) 下原刀研究の第一人者であった故後藤安孝氏の下原刀コレクションを一堂に集め、多摩地域で作られた下原刀について紹介します。記念講演会(11.5)、刀剣研磨実演会(10.20)、下原刀製作工房見学会(10.22)なども実施予定です。詳しくは、お問合せください ●企画展示「大正月・小正月の飾り物展（仮称）」(12.3～1.29) 福生市でみられるお正月の飾り物「ミキノクチ」やその製作技術等と西多摩地域で見られた豊作を願う小正月飾りをご紹介します。 ●企画展示「森田文庫展（仮称）」(2.4～4月中旬) 福生市出身の俳諧師、森田友昇氏生家に伝わる文芸関係資料を一挙に紹介します。 <p>【URL】http://www.museum.fussa.tokyo.jp</p>					

20	くにたち郷土文化館（042-576-0211）				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●郷土文化館まつり(10.23) 太鼓や踊り等の活動を行なっている団体が、日頃の成果を発表します。 ●秋季企画展「市制施行50周年 高度経済成長期とくにたち」(10.29～12.4) 国立市市制施行50周年を記念して、写真資料を基に、高度経済成長期のくにたちについて展示します。 ●むかしのくらし展(1.13～3.13) むかしのくらしや道具についてを展示します。 <p>【URL】http://www.kuzaidan.com/province/</p>					

21	たましん歴史・美術館（042-574-1360）				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円 ※中学生以下無料
<ul style="list-style-type: none"> ●東洋古陶磁展【併設】たましんコレクション絵画展—描かれた陶磁(9.20～12.4) ギャラリートーク(11.11) 14:00～ ●旅する展覧会(29.1.7～3.5) ギャラリートーク(2.3) 14:00～ <p>【URL】http://www.tamashin.or.jp/</p>					

22	パルテノン多摩歴史ミュージアム（042-375-1414）				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(10.4-5、11.15-16、 12.27-1.3、1.17-18、2.20-22、 3.14-15)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「災害と多摩（仮称）」(3.4～7.23) 多摩ニュータウン開発前を含む過去の災害の記録を通して、災害の記憶を共有するとともに、防災への人々の営みについて考えます。 ●企画コーナー展「観察会で出合った植物写真展」(～2.26) 「みんなの植物観察会」と「植物観察会ステップアップコース」では、毎回多くの植物に出会えます。これらの観察会で、撮影した植物写真の一部を展示します。 ●コーナー展示（実習生展示）「メカイって何？～メカイから多摩のくらしを見てみよう～」(～3.31) ●4階廻廊展示「定点撮影プロジェクト写真展Ⅲ 多摩ニュータウンと多摩市の交通今昔」(～4月) ●「植物観察会ステップアップコース 特別講演」(1.12) ●古文書講座中級コース「多摩の山林資源と江戸の橋普請」(1月～3月) <p>【URL】http://www.parthenon.or.jp/museum/ 【ツイッター】http://twitter.com/par_tama_museum 【Facebook】https://www.facebook.com/25thparthenon</p>					

23	東京都立埋蔵文化財調査センター（042-373-5296）				
	多摩丘陵を中心とする埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	12/29～1/3(年末年始)・ 3/13～3/18(展示替え)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●「縄文の村」自然観察会(10.1) ●コハク勾玉作り教室(10.1) ●トンボ玉作り教室③(10.15)、④(1.14) ●縄文食体験①(10.22)、②(10.23) ●第3回文化財講演会(11.3) ●考古学実習①土器拓本・実測(11.5)、②石器観察・実測(11.19)、③古代カマド作りと食体験(11.27) ●土偶作り教室②(11.12) ●遺跡庭園であったまろう！(12.18) ●映像上映会(1.21) ●縄文アクセサリー作り教室③(2.4) ●多摩市共催文化財講演会①(2.8)、②(2.15)、③(2.22) ●平成29年度展示説明会(3.19) ●平成28年度遺跡調査発掘発表会(3.19) <p>【URL】http://www.tef.or.jp/maibun/</p>					

24	町田市立博物館（042-726-1531）				
	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は開館、翌日 休館）、展示替期間、資料整理 期間、館内整理期間	入館料	一般300円※中学生以下無料、障がい者半額
<ul style="list-style-type: none"> ●「—ガラスに、彫る—日本のグラヴィール」(9.10～11.27) 江戸から現代までのガラスを彫って文様を表した作品を紹介します。 ●「昔話の道具—むかしむかしにあったとさ—」(12.10～2.12) 実際に使用されていた道具を昔話のイラストとともに、その使い方も含めながら紹介します。 ●「藍色浪漫—伊万里染付・図変わり大皿の世界—」(仮称)(2.25～5.7) 江戸時代後半から幕末にかけて展開した古伊万里染付「図変わり」大皿の世界を紹介します。 <p>【URL】http://www.city.machida.tokyo.jp/</p>					

11	瑞穂町郷土資料館（けやき館）（042-568-0634）				
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。				
開館時間	10:00～21:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることもあります）
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「瑞穂の消防（仮称）」（10.22～12.18） 瑞穂町の消防を支えてきた人々と、その活動について紹介する展示です。町の消防団を軸に明治時代から現代までの消防、消防組織の変遷と街づくりについて明らかにします。 ●企画展「瑞穂の仮面（仮称）」（1月～2月予定） お囃子のお面や獅子舞のお面といった、瑞穂町の伝統的なお面に関する展示を行います。 ●企画展「けやき館 雛祭り展（仮称）」（2月～3月予定） 当館に隣接する耕心館の雛祭りの開催に合わせて、展示を行います。 					
【URL】 http://mizuhokyodo.jp					

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620）				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●歴史講座「多摩の戦争遺跡」（11.5） 講師：榑崎茂彌氏（立川市史編さん委員会副委員長） ●文化財見学会「武蔵村山の戦争遺跡をめぐる」（11.26） 講師：榑崎由美氏（市文化財保護審議会委員） ●特別展「武蔵村山市の指定文化財」（12.3～2.12） ●年中行事展「正月飾り」（12.17～1.22） 「桃の節供」（2.7～3.5） ●自然観察会「狭山丘陵の早春」（3.25） ●ミニ企画展「狭山丘陵の早春」（3.18～4月上旬） 					
【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html					

13	立川市歴史民俗資料館（042-525-0860）				
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<p>原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画展「しばざき・すながわの絵図～地図でみる立川の歴史～」（10.22～12.11） 江戸時代～明治時代初頭の柴崎村・砂川村の村絵図を展示・紹介します。 ●東京文化財ウィーク関連事業「銅鉦鼓」（10.29～11.27） ●写真展「立川の文化財～今に伝わるたからもの」（10.12～12.11） ●企画展「むかしの道具（仮称）」（1.14～2.19） むかしの生活道具などを展示します。 ●ミニ展示「桃の節句展」（2.7～3.5） 市内幸町の古民家園でも展示します。 					
【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html					

14	日野市郷土資料館（042-592-0981）				
	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「今、よみがえる真慈悲寺―幻の大寺院を追い求めて―」（9.17～11.20） 会場：日野市立新選組のふるさと歴史館（入館料が必要、開館時間9:30～17:00） ●企画展「七生丘陵のハイキングコース 今・昔」（7.16～10.23） ※あわせて土器展も開催中 ●企画展「日野の産業革命～レンガ・ビール・養蚕」（10.29～4.16） ●藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日 講演会「幽冥文学談義～平田篤胤から水木しげるまで～」（10.10） 会場：高幡不動尊 講師：東雅夫氏（文芸評論家・会談文芸専門誌『幽』編集顧問） 					
【URL】 http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/					

15	首都大学東京 91 年館（042-677-1111・内線 2041）				
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。首都大学東京の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介しています。 ●大学祭期間特別公開（11.3～5） 首都大学東京南大沢キャンパス大学祭「みやこ祭」にあわせて展示室を公開します。 ●その他の企画 ウェブサイト等でお知らせいたします。【URL】 http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html 					

16	帝京大学総合博物館（042-678-3675）				
	帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。				
開館時間	9:00～17:00（入館は16:30まで）	休館日	日曜日・祝日。その他大学の定める休日（臨時休館あり）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●帝京大学創立50周年・帝京大学書道研究所創設40周年記念特別展「日本書道文化の伝統と継承-かな美への挑戦-」（10.18～12.19） 帝京大学書道研究所が所蔵する書跡資料を中心に展示し、古代から現代まで脈々と継承されている日本書道文化の魅力に迫ります。 ●シンポジウム「日本書道文化のさらなる発展を目指して」（11.26） 登壇者：名児耶明（公財 五島美術館常務理事・副館長） 土橋靖子（日展会員・大東文化大学特任教授） ●列品講座（10.22） 講師：高城弘一（大東文化大学教授） 福井淳哉（帝京大学准教授） ※行事の詳細は、ホームページ等をご覧ください。 【URL】 http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/ 					

17	東大和市立郷土博物館（042-567-4800）				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。1千万個の星を映し出すプラネタリウムが評判。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料（プラネタリウムは有料）
<ul style="list-style-type: none"> ●プラネタリウム 特別投影：お月見投影（9.17）「ほしみるおじさん」（11.3・5・6） クリスマス投影（12.23～25） クリスマスコンサート（12.25） 秋番組：「楽しい星座さがし～H.A.レイの世界〈秋冬編〉」「妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい！」（9.18～12.4） ●企画展示「吉岡堅二展—鳥110羽」（9.17～10.16） 吉岡堅二生誕110年にちなみ、110羽の鳥の絵を展示 ●東大和郷土美術館 秋の特別公開（仮称）（11.26・27）10時～16時 ●企画展示「植物画を描く」（10.29～12.4）「ひなまつり」（2.18～3.5）「歌に詠まれた鳥たち」（3.18～） ●旧日立航空機株式会社変電所一般公開（毎月第2日曜日） ●その他各種講座を随時開催 					
【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html					

18	東村山ふるさと歴史館（042-396-3800）				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●秋の特別展「祝い着—子どもの成長と嫁入り—」（10.5～12.11） 七五三などの祝い着や花嫁衣装を中心に、嫁入り道具を記した文書とともに、織物の産地であった村山地域の人々が身に着けてきた着物類を展示します。＊会期中に展示替え有 付随事業：展示説明会（文書編・11.27/着物篇・12.10） 村山緋の実演と体験（10.13・26、11.10、12.1・8） ●文化財講演会：「石仏・石神から読み取れること」（11.26） 講師：小川直之教授（國學院大学文学部） ●小学3年生社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」（1.12～3.12） ◆下宅部遺跡はっけんのもりへようこそ2016！-1日こども縄文ムラ-（10.30） 詳細はお問い合わせください。 【URL】 https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/index.html ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 〒042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。 【URL】 https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/index.html 					

19	国立ハンセン病資料館（042-396-2909）				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30（入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展『生きるための熱—スポーツにかける入所者たち—』（10.1～12.27） ハンセン病療養所では、入所者の間でスポーツが盛んでした。戦前に運動会、野球、テニス、卓球、相撲が始められ、戦後にバレーボール、ソフトボール、バトミントンなども登場、1970年代からはゲートボールが盛んになりました。入所者には、限られた空間と選択肢しか許されない療養所の中での生を実感するために、自分が患者・回復者であることを一瞬でも忘れられるために、何かに血を湧き立たせるものが必要でした。療養生活を充実させるため、社会と関わる場面を手に入れるため、他人と対等に渡りあうために、スポーツは単なる娯楽をこえて、生きるために無くてはならないものでした。本展を通して、入所者がスポーツに向けた「生きるための熱」を感じていただければ幸いです。 					
【URL】 http://www.hansen-dis.jp/					